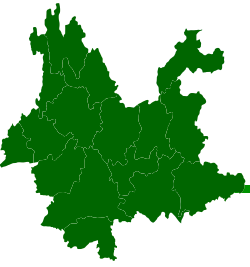




# 中国西南民族史

---

## 3. 隋唐の雲南経営と西南民族② (つづき)

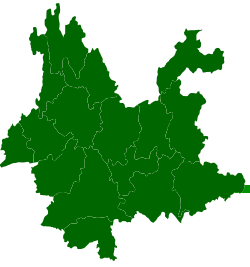


# 7世紀前半の洱海地区

『西洱河風土記』(史料3.9)

「其地有数十百部落,大者五六百戸,小者二三百戸。無大君長,有数十姓,以楊李趙董為名家,各拋山川,不相役属。白云其先本漢人。」

- あまり大きな政治統合は存在しない  
→ 白子国「伝説」と矛盾?
- ただし「白云其先本漢人」「有文字,頗解陰陽曆数」などはこの地に漢代以来の遺民の末裔がいることを示唆する

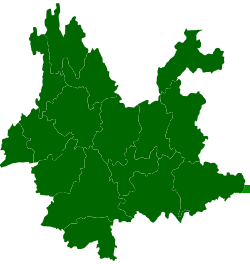


# 「風土記」からみた当時の洱海地区

## ■ 林超民によるまとめ

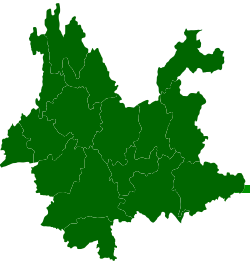
(《〈西洱河風土記〉及其史料价值》《云南社会科学》1982年第3期)

- 是较为发展的农业社会，生产技术已较先进，耕作精细，品种较多；
- 农业和手工业、畜牧业直接结合，是自给自足的生产整体；
- 已有了少量商品交换，金、银已是财富的象征，可以作为赎罪的手段；
- 没有土地私有，更没有土地买卖的记录；



## (つづき)

- 一夫一妻家庭开始成为社会的经济单位，他们有自己的房屋、园地、禽畜、并能占有田业，个体耕种，产品归己；
  - 已有城郭邑落，其中居民或是同族姓，或是不同族姓，地域关系已取代血缘关系；
  - 出现了富人和穷人的分裂；
  - 已建立起维护私有制的公共权利；
  - 各据山川，无大君长，不相役属，好结仇怨。
- 
- 三国六朝期の「南中社会」の到達点？



# 姚州都督府の設置

- 雲南各地に州県(羈縻(きび)州県)の設置  
西洱河蛮・東洱河蛮・松外蛮首領→唐へ入貢

664「昆明之弄棟川置姚州都督府」(史料3.10)

- 姚州都督府:唐王朝の最前線基地  
(毎年500人を派遣)
- 中原から雲南へのルートが石門路(戎州=宜賓経由)から  
清溪関路(嵩州=西昌経由)に変化



至成都 戎州

麴州

会川

姚州

麩州

浪穹州

勃弄

麩州

南寧州

永昌

雲南

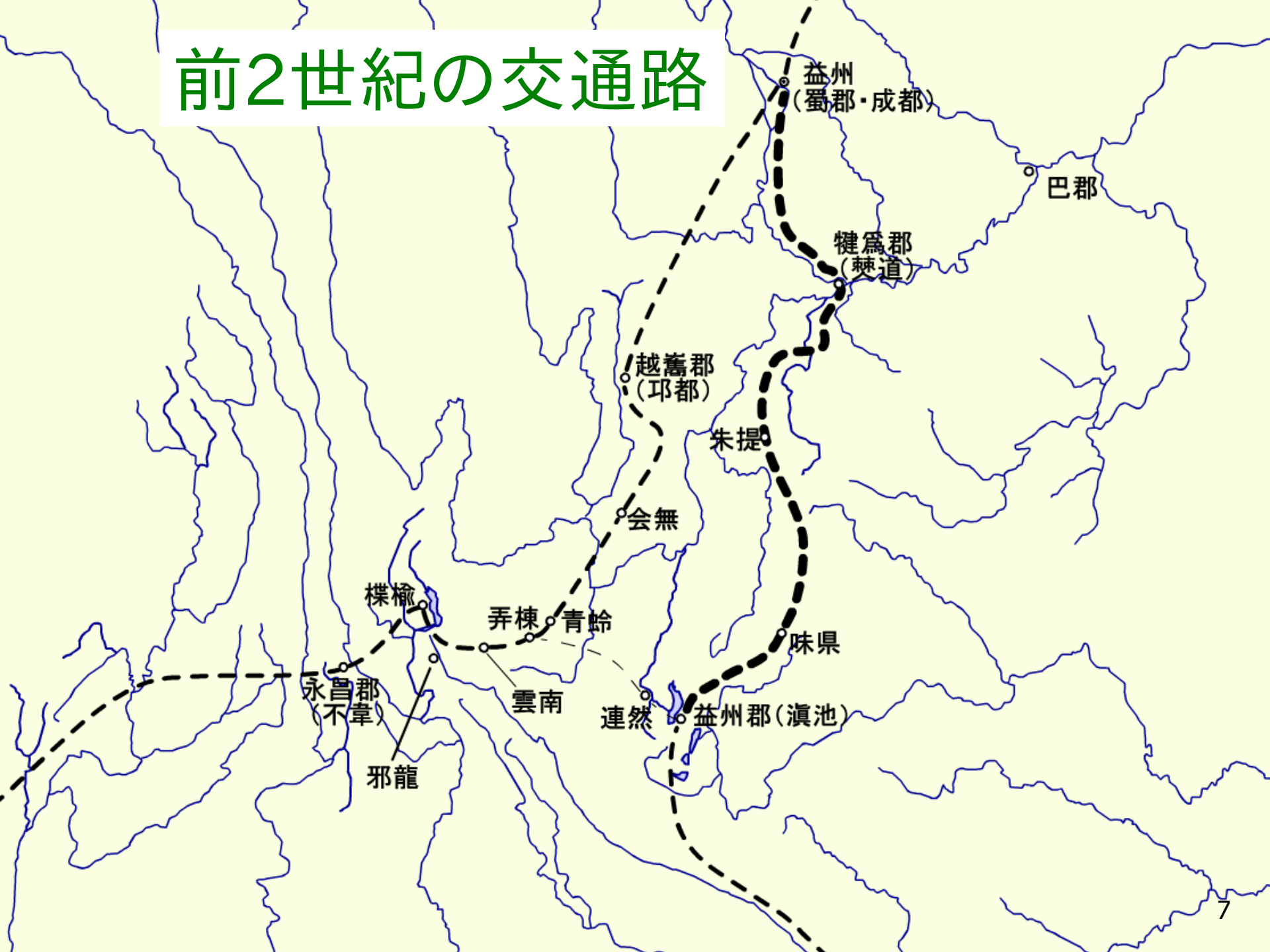
昆州

安寧

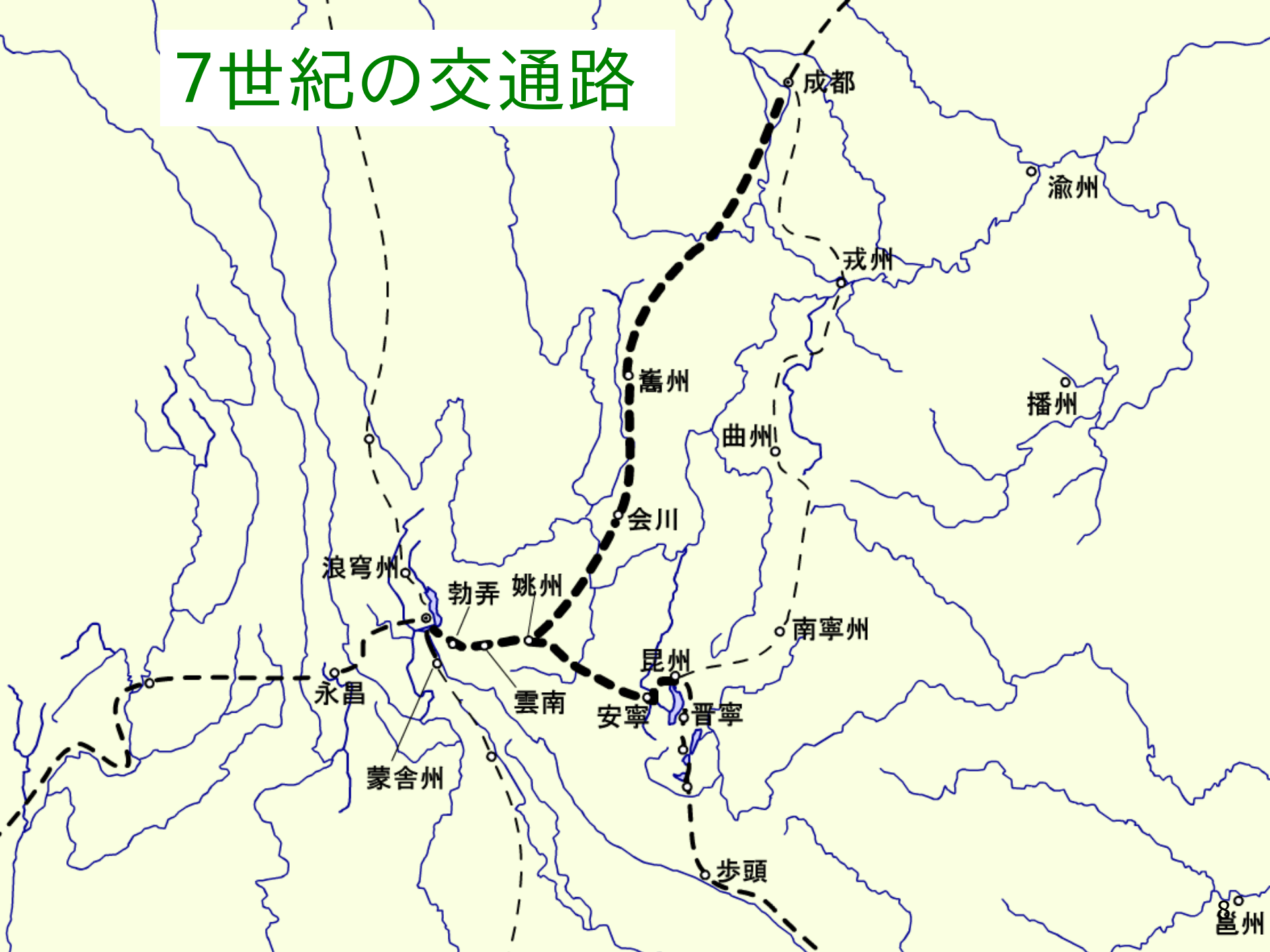
晋寧

蒙舍州

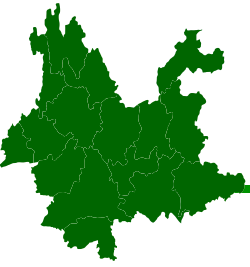
# 前2世紀の交通路



# 7世紀の交通路

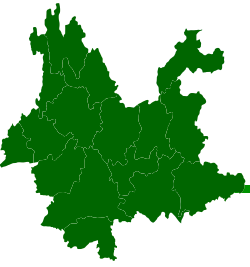






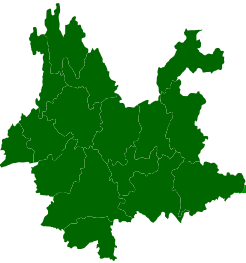
# 姚州都督府設置の意義

- 中原から雲南へのルートが石門路(戎州=宜賓経由)から清溪関路(嵩州=西昌経由)に変化
- 嵩州-姚州ルートが成都と雲南を結ぶメインルートとなるとともに、吐蕃との西南戦線を形成



# チベットの吐蕃王朝

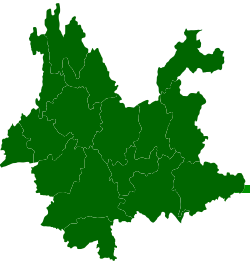
- 630 ソンツェン・ガンポ (松贊干布) 王位に即く
- 633 都をラサに定め, 吐蕃王朝を開く
- 634 唐に使者を送る
- 636 唐に公主降嫁を求めるが拒絶される
- 638 分裂状態の吐谷渾を攻撃, 臣属させる
- 松州 (四川西北部) で唐軍と対峙, 公主降嫁を迫る
- 640 唐から文成公主を迎える
- 649 ソンツェン・ガンポ死去



# ソンツェン・ ガンボの像







# 唐と吐蕃

7c後半 東西通商路(シルク・ロード)東部の支配  
に乗り出す

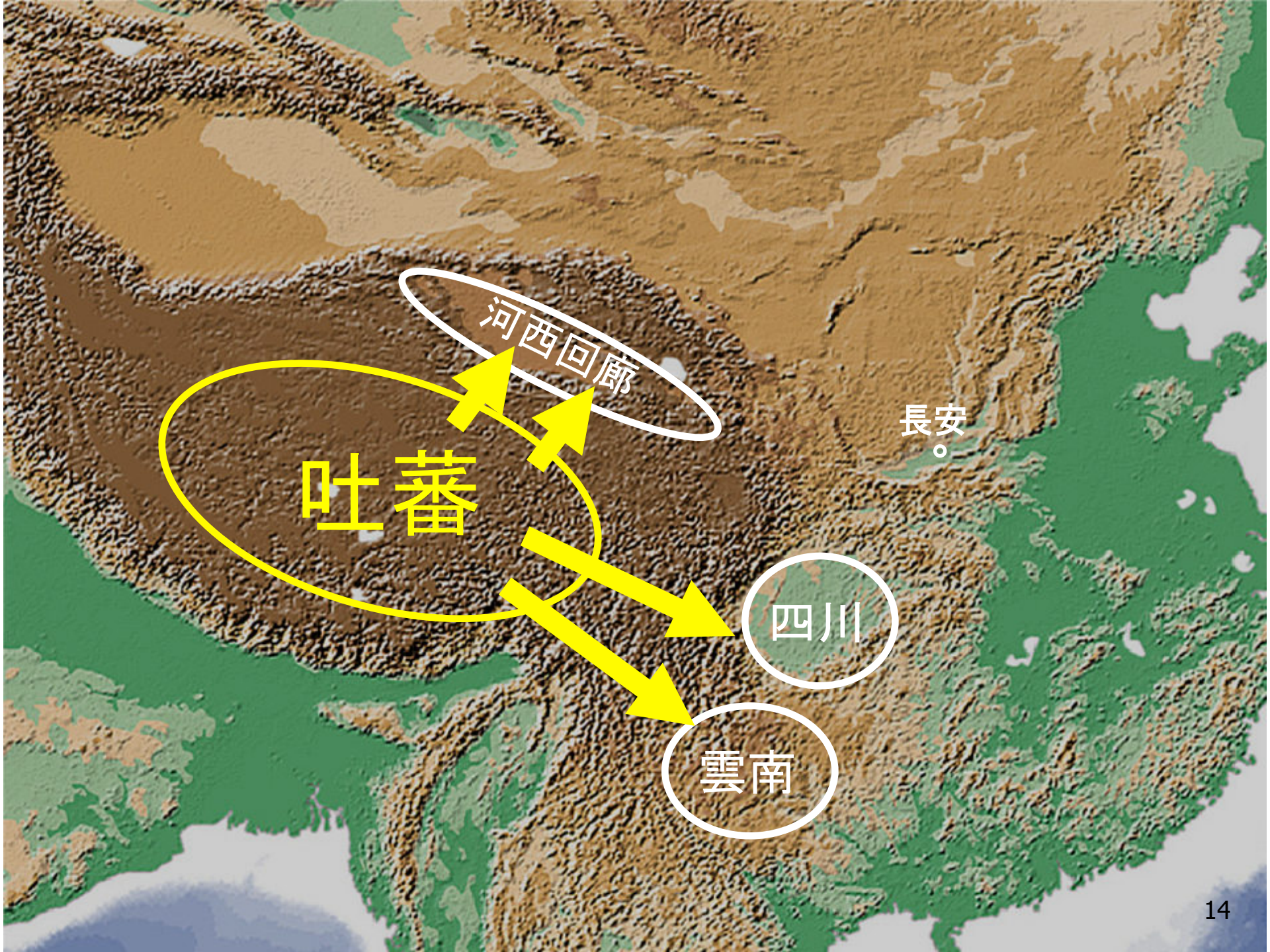
670 唐の安西四鎮(クチャ・カラシャフル・ホータン・  
カシュガル)を制圧

680 文成公主死去

692 唐が安西四鎮を奪回

704 ティ・ドゥーソン王, 雲南親征中に死去

河西だけでなく四川西部・南部・雲南も  
唐・吐蕃両者の争奪地



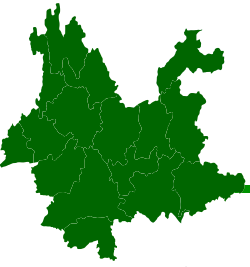
河西回廊

長安。

吐蕃

四川

雲南



# 姚州の争奪

- チベットから茂州(成都の西北)に出て, 成都の西側を通過して檣州経由で雲南に入るルートが存在
- 吐蕃と唐の間で檣州-姚州ルートの争奪

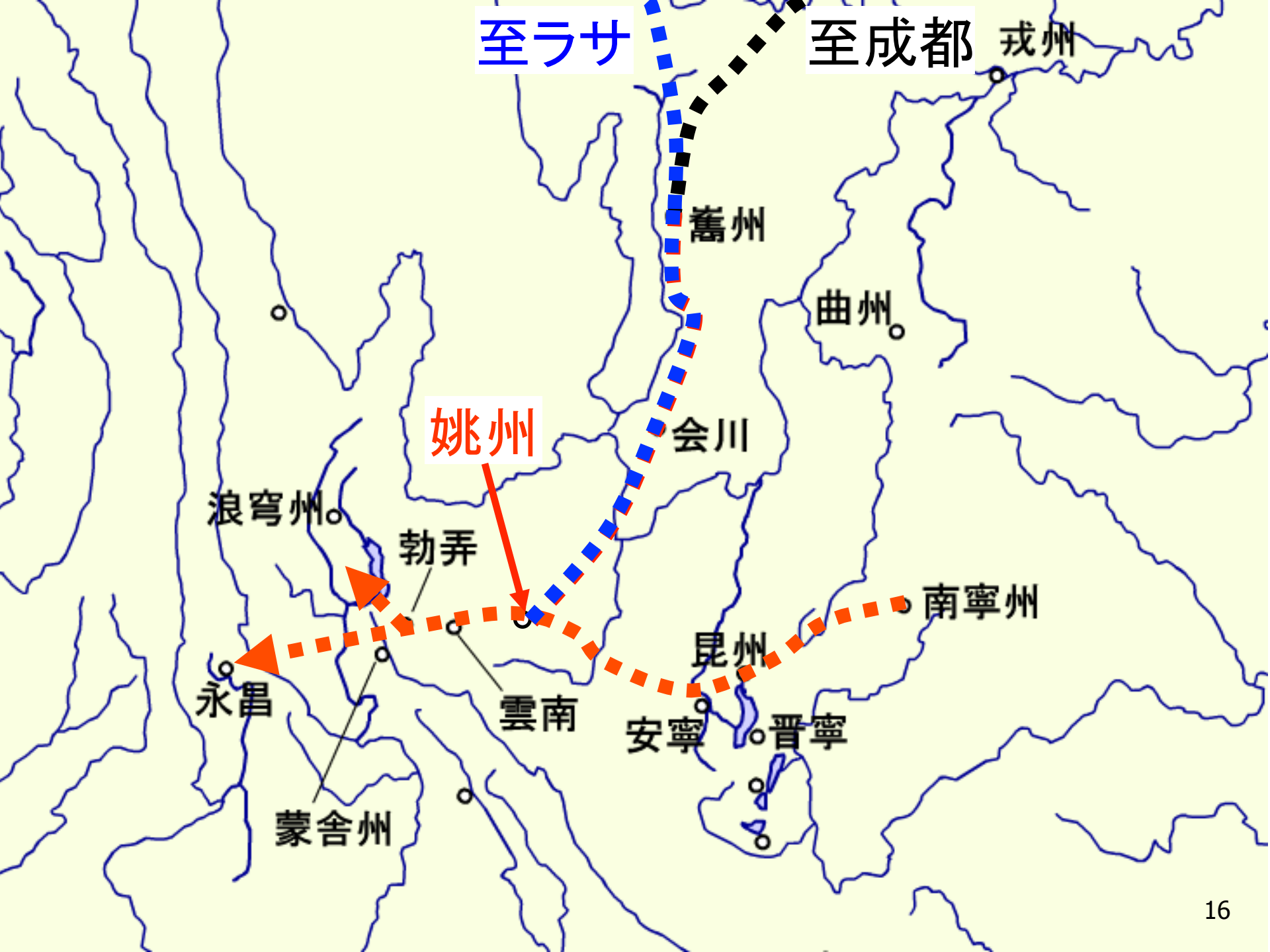
678 唐, 茂州西南に安戎城を築く

680 吐蕃が安戎城を占拠

(四川南部の「生羌」を道案内として利用)

「由是西洱諸蛮皆降於吐蕃。」(史料3.11)

唐はやむなく姚州を放棄



至ラサ

至成都 戎州

嵩州

曲州

姚州

会川

浪穹州

勃弄

南寧州

永昌

雲南

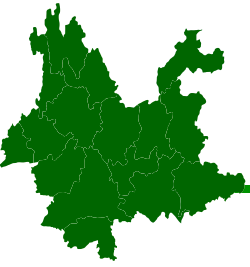
昆州

蒙舍州

安寧

晋寧





# 姚州都督府の復活

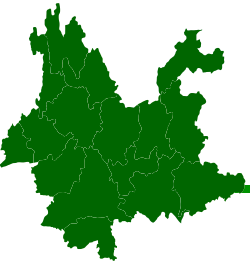
688頃 姚州都督府を再設置

(昆州刺史爨乾福ら爨氏の誓願による)

689 「浪穹州蛮酋傍時昔等二十五部, 先附吐蕃, 至是來降。」(浪穹州は洱海の北部)(史料3.12)

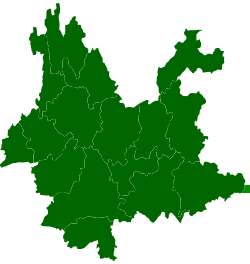
■ 觀察御史裴懷古, 姚州都督となり西南蛮を「安集」

694 「永昌蛮酋董期帥部落二十余万户内附。」  
→西北でも唐が攻勢に出ている時期  
(安西四鎮奪回) (史料3.13)



# 姚州廃止論も

- 裴懷古の後 姚州都督に人を得ず,しばしば現地民族の反乱を招く
  - 武后時期に蜀州刺史張柬之の廃止論も(698)  
「請廢姚州以隸嶠州,歲時朝覲,同之蕃國。瀘南諸鎮亦皆廢省,於瀘北置関,百姓非奉使,無得交通往来。」(史料3.14)
- 対吐蕃戦略上の意義から考えて,とうてい受け入れられる議論ではない

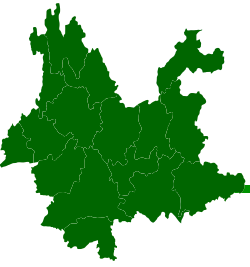


# 王仁求碑(698)

## 「大周故河東州刺史之碑」

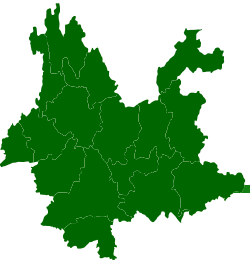
- 安寧市郊外, 小石庄村西南の碑苑に存在
- 630年に生まれた王仁求が672年に陽瓜州刺史蒙儉が中心となって起こした反乱の鎮圧に功をあげ, 武后から河東州刺史を授けられたことがわかる。
- 多くの則天文字が使用されている。





# 河東州・陽瓜州

- 王氏は「安寧郡人」  
碑文は先祖が大原の王氏の流れと主張するが、  
魏晉以来の「南中大姓」の末裔では？
- 河東州は大理市南部の鳳儀、  
陽瓜州はその南の巍山県に比定される
- 巍山＝南詔蒙氏の発祥の地  
「蒙儉」はこれに関係？



# 則天文字の例(王仁求碑末尾の日付)

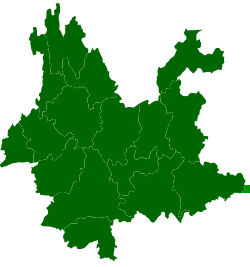
- 聖曆元年正月拾柒日葬，  
其年拾月拾日立。
  
- 聖曆元垂田匝拾柒㊦葬，  
其垂拾匝拾㊦立。



# 中国西南民族史

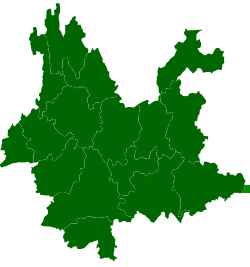
---

## 3. 隋唐の雲南経営と西南民族③



# 開元末・天保初の雲南民族

- 滇池地区：西爨（＝爨氏）・東爨  
→ 実質的には爨氏の政権が継続
- 洱海地区：「六詔」  
→ 7c後半～8c初めごろより  
急速に新しい政治権力が勃興  
→ 「西洱河蛮」（「白子国」の実体？）もその  
支配下に入る



# 西爨と東爨

西爨・東爨(→『蛮書』)

■ 「西爨, 白蛮なり」

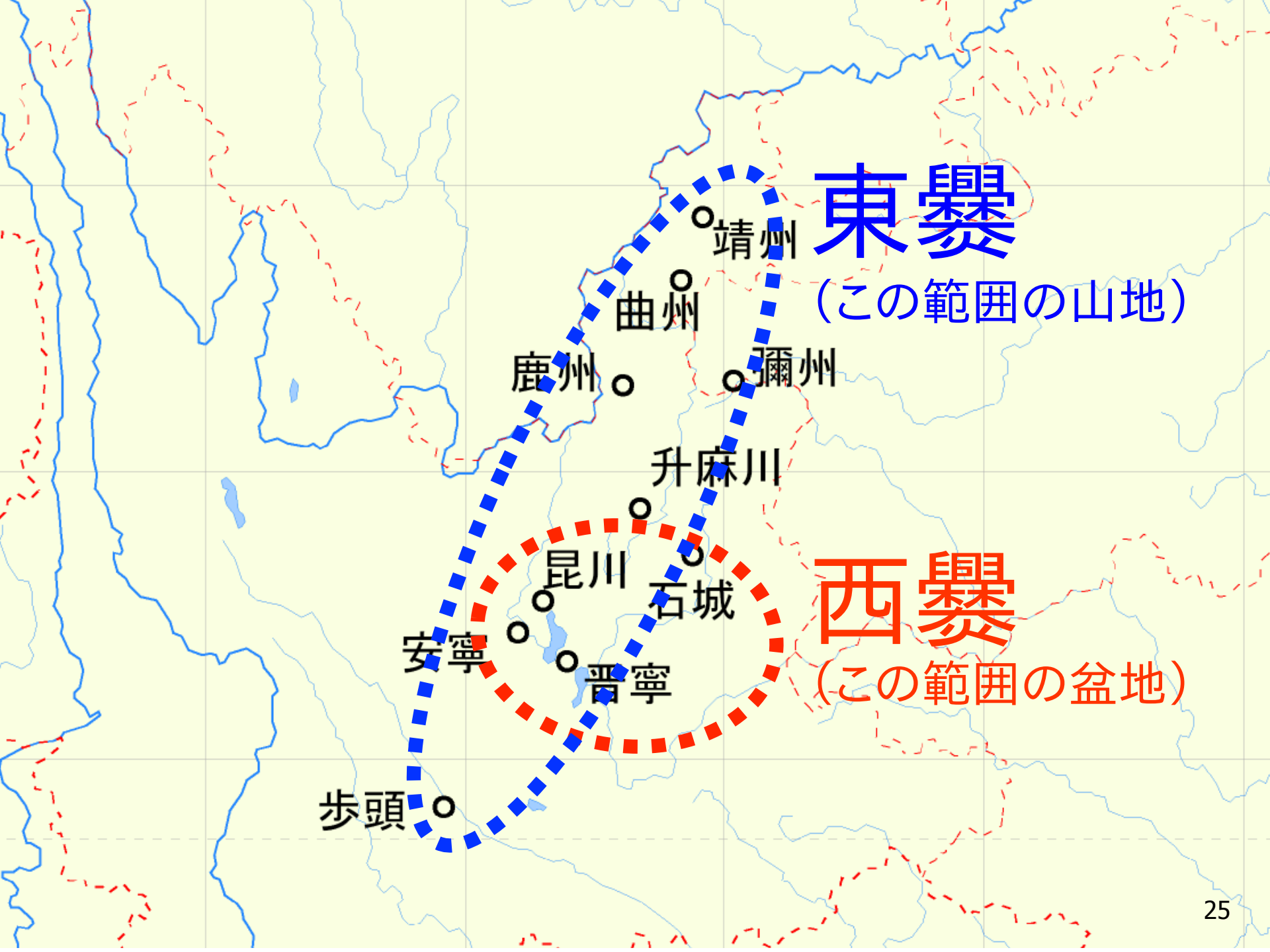
石城(曲靖)・昆州(昆明)・晋寧など  
爨氏一族が支配する, 盆地部の農耕民

■ 「東爨, 烏蛮なり」

曲州(昭通)・靖州(威寧)・彌川(宣威)・  
鹿川(会澤)など

石門路沿いの山地民(爨氏の直接支配下にはない)





# 東夔

(この範囲の山地)

# 西夔

(この範囲の盆地)

靖州

曲州

鹿州

彌州

升麻川

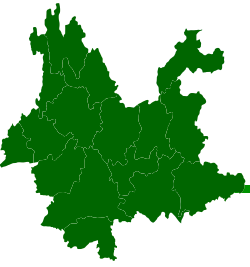
昆川

石城

安寧

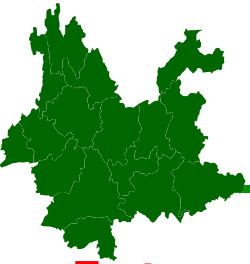
晉寧

歩頭



# 開元末(720年代)の爨氏

- 爨歸王「南寧州都督」  
爨崇道「兩爨大鬼主」(歸王の兄の子)  
爨日進・日用→安寧城(崇道の弟)
- 曲靖・滇池両地区を中心に  
雲南東部・中部に大勢力
- 唐に対してはしばしば反抗的  
→吐蕃の勢力が西南におよび, 唐の支配が不安定になっていることの表れ



# 六詔(りくしょう)の勃興

## 「六詔並烏蛮」(『蛮書』)

- 蒙舍詔:「自言本永昌沙壺之源也」**哀牢人?**  
→「在諸部落之南, 故称南詔也」
- 蒙騫詔:「同在一川」蒙舍詔(南詔)と同族?
- 越析詔:「亦謂之磨些詔」  
→**磨些蛮=現代納西(ナシ)族の祖先**
- 浪穹詔
- 澄賧詔:「凡浪穹, 澄賧, 施浪, 總謂之浪人」
- 施浪詔  
→「**昆明人**」(漢代以來の住民)



三浪詔

(昆明人?)

浪穹詔

洱源

漾濞詔

施浪詔

洱

大理

海

金沙江

磨些人?

越析詔

(磨些詔)

蒙騫詔

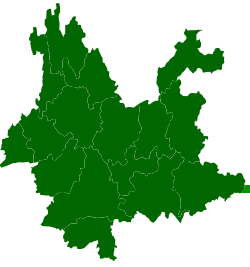
祥雲

哀牢人?

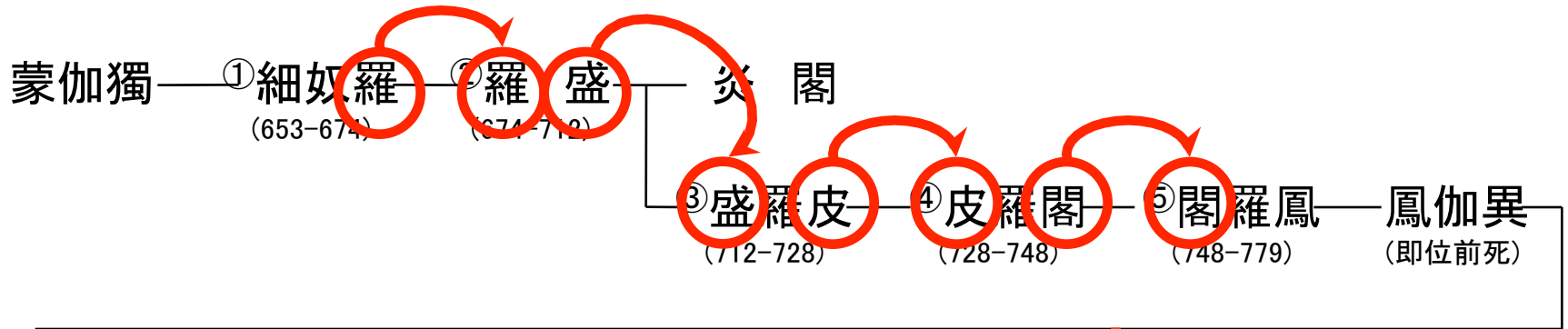
弥渡

巍山

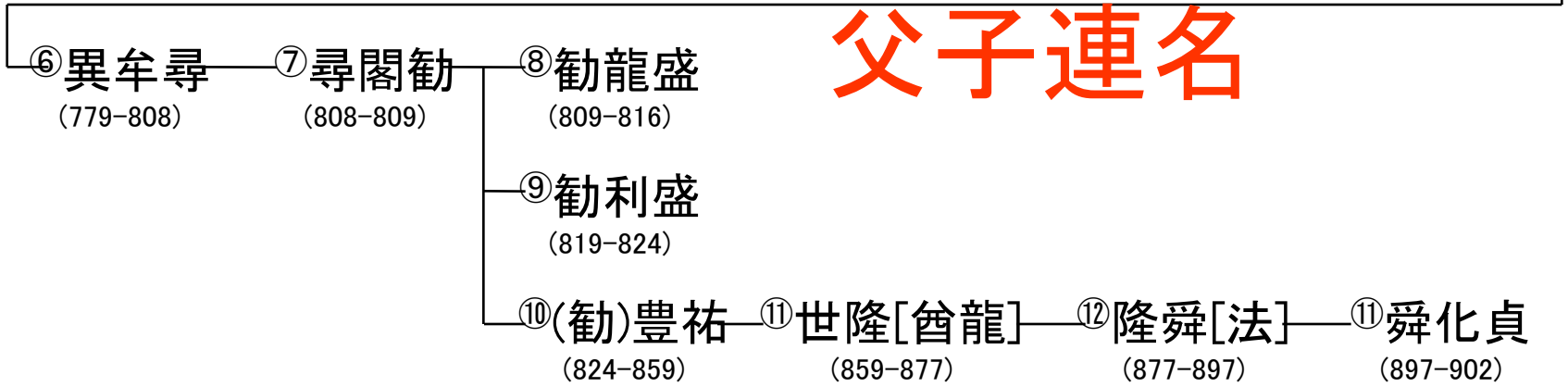
蒙舍詔

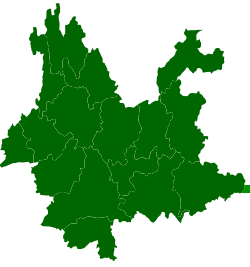


# 南詔蒙氏(蒙舍詔)系圖



## 父子連名





# 六詔の政治権力の由来

- 「白子国」との関係は蒙氏の伝説を除いて不明  
(蒙氏=白子国からの遜位伝承)
- 系譜によれば開元末ごろに初代～三代  
(蒙氏のみ四代)  
→8世紀に入ってから急速に形成  
↑
- 羈縻州県設置から1世紀
- 吐蕃の隆盛・西南中国にも勢力伸張